



平成 24 年 7 月 12 日

各 位

福岡県福岡市中央区薬院一丁目 1 番 1 号
メディアファイブ株式会社
代表取締役社長 上野 英理也
(コード番号：3824 Q-Board)
問合せ先：専務取締役管理本部長 吉行 亮二
(電話番号：092-762-0555)
<http://www.media5.co.jp/>

中期経営計画修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 7 月 12 日に公表いたしました平成 25 年 5 月期を最終年度とする中期経営計画「Action Plan 2012」を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 修正の理由

当社は、中期経営計画「Action Plan 2012」を策定してから重点顧客基盤の拡大、お客様の経営戦略の支援、エンドユーザーの新規開拓等という営業面と、新しい人材の育成及びお客様に喜ばれる IT エンジニアの教育、中途採用等の人材面に注力して、積極的に事業活動を行ってまいりました。しかしながら、平成 24 年 5 月期は、平成 24 年 4 月 11 日に公表いたしましたように業績予想の下方修正を行う結果となりました。

平成 25 年 5 月期は、業績回復に向けて、更なる営業活動の強化・IT エンジニアの育成・経費削減を実施してまいりますが、当初計画に比べ進捗が遅れていることから「Action Plan 2012」の平成 25 年 5 月期の計画値の修正を行うべきとの判断に至りました。

2. 主な要因

- ①SI 事業 SI グループにおいて、企業からの IT エンジニアの需要は幾分好転しましたが、スクール事業の求職者支援制度による職業訓練を用いた IT エンジニアの育成が計画通り進まなかったことに加え、高度 IT 人材については人材不足の状況が続いており、中途採用による人材の確保も出来なかったことから IT エンジニアの稼働者数が目標数値を下回りました。
- ②SI 事業ソリューショングループにおいて、依然、企業の IT 関連投資の抑制傾向が強く、新規の受託開発案件及び Bakoon!! サービスの受注が目標を下回ったことで、労務費等の販管費及び一般管理費の負担が大きくなりました。
- ③求職者支援制度による職業訓練による優秀な IT エンジニアの育成が難しいと判断したため、平成 24 年 5 月期にスクールの閉鎖・統合を実施いたしました。それにより、販売費及び一般管理費が増加したこと及び移転に伴う固定資産の除去損が発生いたしました。

3. 業績目標

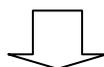
①-1. 当初計画～次年度・最終年度修正計画（単体）※平成23年7月13日公表（単位：百万円）

	平成23年5月期(実績)	平成24年5月期(計画)	平成25年5月期(計画)
売上高	764	910	1,050
売上総利益	274	310	340
営業利益	△64	0	20
経常利益	△35	4	20
当期純利益	△51	2	15

①-2. 当初計画～次年度・最終年度修正計画（連結）※平成23年7月13日公表（単位：百万円）

	平成23年5月期(実績)	平成24年5月期(計画)	平成25年5月期(計画)
売上高	—	980	1,120
売上総利益	—	331	361
営業利益	—	4	24
経常利益	—	8	24
当期純利益	—	4	17

※連結子会社の取得に伴い、平成24年5月期より連結財務諸表作成会社となりますので、平成23年5月期の連結業績の実績については記載しておりません。



①-1. 最終年度修正計画（単体）（単位：百万円）

	平成23年5月期(実績)	平成24年5月期(実績)	平成25年5月期(計画)
売上高	764	835	886
売上総利益	274	291	299
営業利益	△64	△22	2
経常利益	△35	△14	2
当期純利益	△51	△57	1

①-2. 最終年度修正計画（連結）（単位：百万円）

	平成23年5月期(実績)	平成24年5月期(実績)	平成25年5月期(計画)
売上高	—	918	952
売上総利益	—	316	317
営業利益	—	△17	4
経常利益	—	△10	4
当期純利益	—	△53	2

※連結子会社の取得に伴い、平成24年5月期より連結財務諸表作成会社となりますので、平成23年5月期の連結業績の実績については記載しておりません。

以上

業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。